



学力UP便り



続・全国学力・学習状況調査の結果から



全国の小6・中3を対象に毎年実施され、本校の6年生も4月に取り組んだ「全国学力・学習状況調査」。このほど、全国平均など、結果の詳細が市の教育委員会から公表されました。本便りの4号では、本校独自で分析した結果を速報としてお伝えしましたが、今回は公表された結果を受けて、改めて「子どもたちの姿の一端」について紹介させていただきます。子どもたちが、今後も効果的に学習を進めていくことができるような、何らかのヒントになればと思います。

【国語】

基礎・基本の力を問うA問題は全国平均をやや下回り、活用力を問うB問題では全国平均を大きく上回る結果となりました。

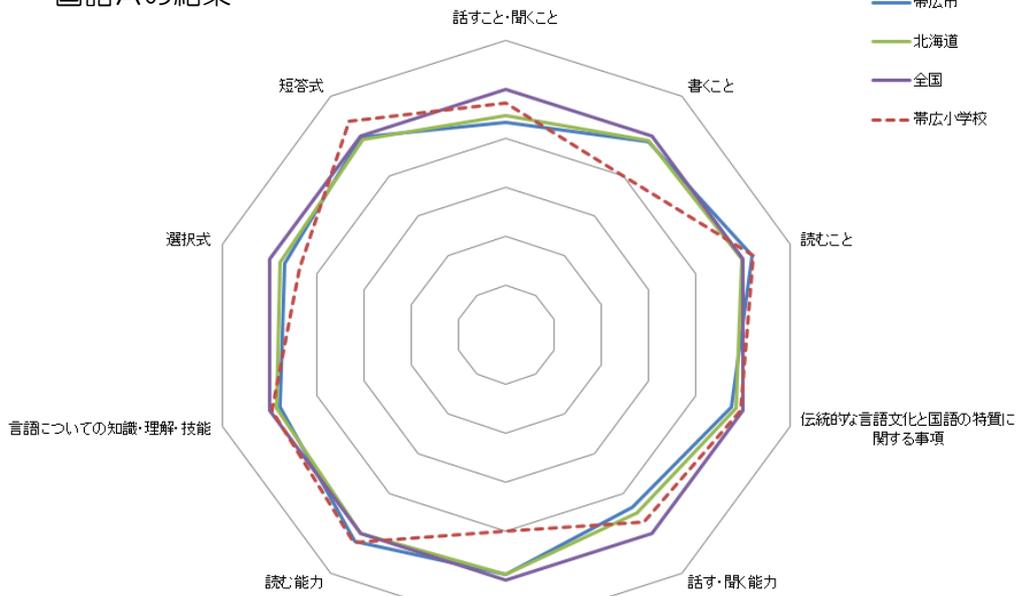
A, B双方の結果から、今年度の全国学力・学習状況調査に参加した本校の児童は「読むこと」を得意とし、「書くこと」を苦手としているという傾向が明らかになりました。

「読むこと」は、全国平均を上回る結果となりました。

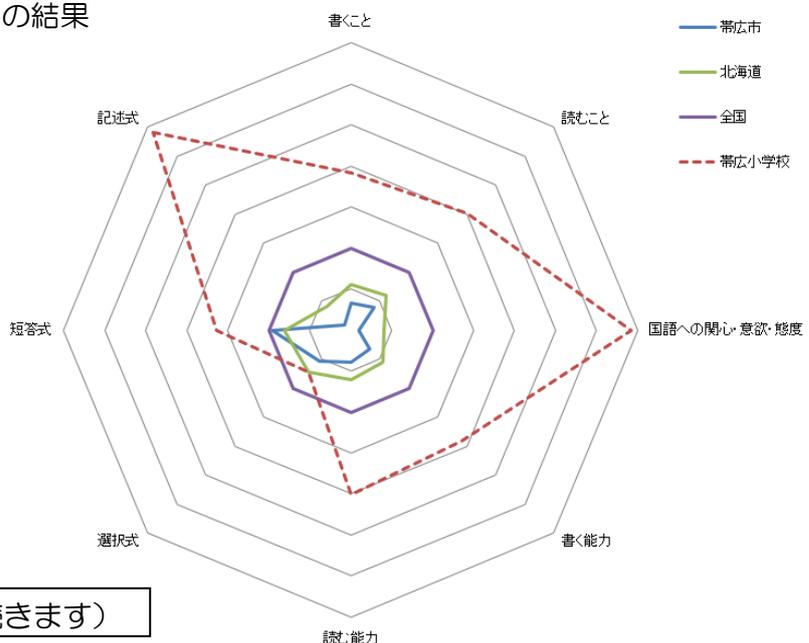
後に触れる児童質問紙から窺える傾向として、本校の子どもたちは国語の授業だけでなく、生活の中での読書の時間が全国平均とくらべて長く、読書に慣れ親しんでいます。このことが「読む力」につながっているといえそうです。

一方、「書くこと」はA問題で全国平均を下回りました。

国語Aの結果



国語Bの結果



(裏に続きます)

(続き)

作文を宿題にしたり、国語や算数、道徳などで「考え」をノートにまとめる活動を進めたりしていますが、例えば「具体的な内容を取り上げて」や「何字以内で」などの条件を満たす書き方の練習や、資料となる表やグラフ、挿絵など読み解き、それを参考にしながら文章を書いていくような練習がさらに必要であることが、結果から明らかになりました。

【算数】

国語同様、基礎・基本の力を問うA問題は全国平均をやや下回り、活用力を問うB問題では全国平均をやや上回る結果となりました。

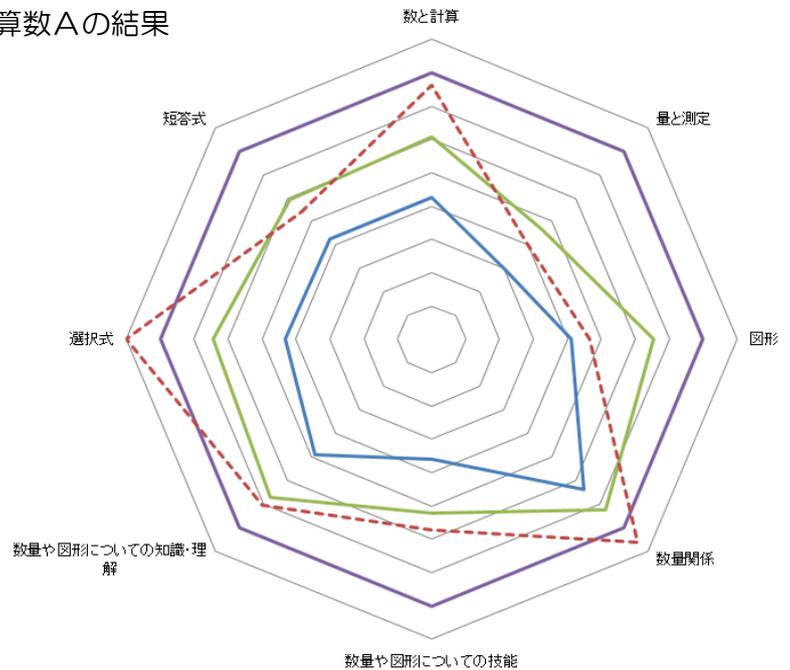
A問題では、グラフの内容を読み取る「数量関係」の問題で全国平均を上回りましたが、それ以外の領域では全国平均を下回る結果となりました。所要時間を求める「量と測定」の領域の問題（*下の問題を参照）では、聞かれていることを明確にし、条件を整理して問題を解くという「過程を大切にされた考え方」を磨いていく必要性が、また、「図形」領域の問題では、図形の性質を利用して説明したり、問題を解いたりする力を高めていく必要性があることがわかりました。

B問題では、「割合」の考え方を利用して問題を解く「数量関係」の領域の問題で全国を大きく上回りましたが、概数を活用し、四捨五入以外の考え方で値を出したとき、その数を実際の数と比べて大小を考えるような「数と計算」の領域では、全国を下回る結果となりました。

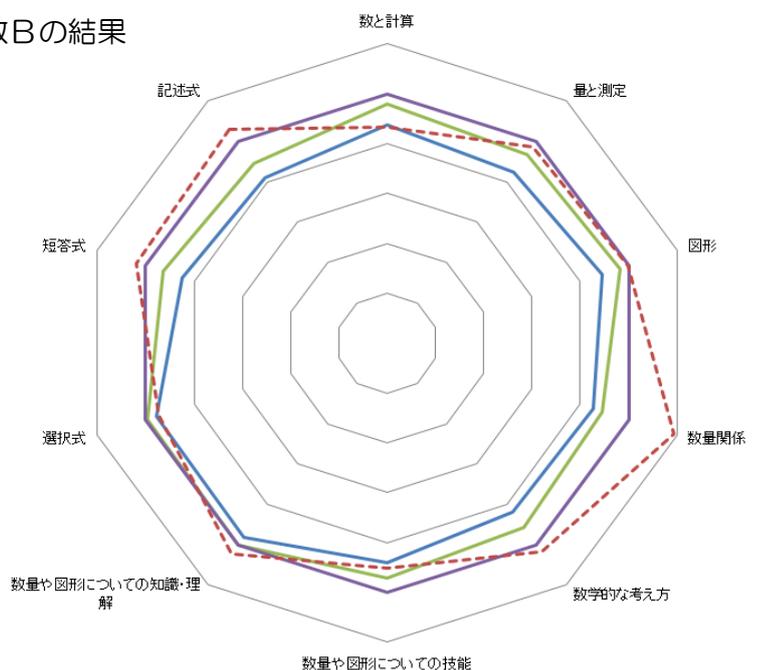
これらのことから、くり返しの練習を通して、これまで学習してきた内容を定期的に振り返り、いつでも活用できるような「基礎力」を一層定着させていく必要があることや、何が課題なのかを明確にして問題に取り組もうとする姿勢、さらに、例えば単に公式を用いて機械的に答えを出すのではなく、「なぜそうなるのか」ということにこだわって答えを求める練習などが、今後も必要であることが明らかになりました。

(2枚目に続きます)

算数Aの結果



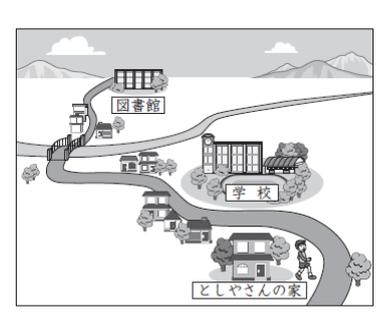
算数Bの結果



所要時間を求める問題

としやさんは、家から学校の前を通って図書館へ行きます。家から学校までは5分、学校から図書館までは20分かかります。

午後3時10分までに図書館に着くためには、おそくとも、午後何時何分までに家を出ればよいですか。その時刻を書きましょう。



学力UP便り 第7号(2)

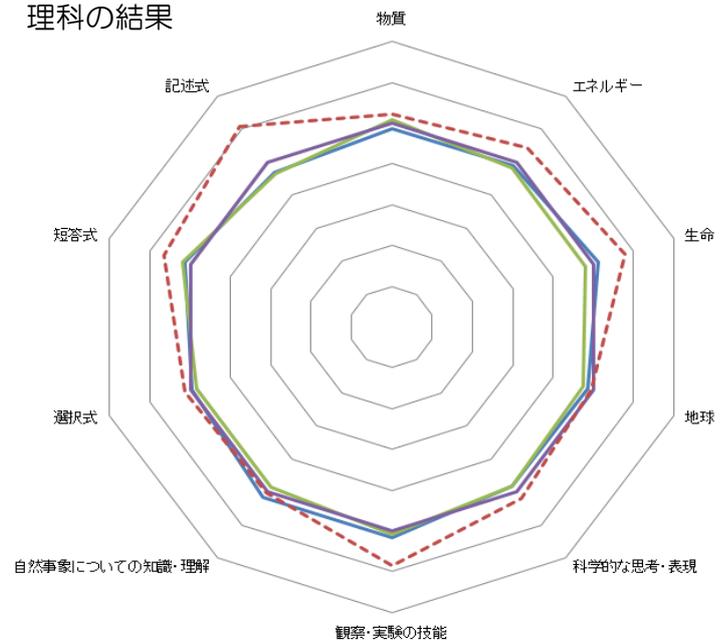
【理科】

理科は、全体として全国平均をやや上回る結果となりました。中でもメダカの観察についてなどの問題が出題された「生命」の領域では、実際にメダカを飼育した経験もあり、大変理解が進んでいたことがわかりました。

一方、星の動きや気象にかかわる問題が出題された「地球」の領域は全国平均をやや下回りました。

水が水蒸気になる現象の名称（蒸発）や、グラフを見て「打ち水」の効果について選択する問題に課題が見られました。ここからは、単にグラフの値を見るだけでなく、そこから読み取れる過程や、その理由について考察し、考えをまとめていく練習が一層必要であることが明らかになりました。

理科の結果



「質問紙調査」から見えてくること…

全国学力・学習状況調査では、国語、算数、理科の学習調査のほかに、学習意欲や方法、環境、生活の諸側面についてアンケート形式で答える「質問紙調査」が実施されています。このうち、本校の子どもたちに見られる特徴的ないくつかの側面について取り上げ、全国平均と比較しながらお知らせします。

質問6「自分には、よいところがあると思いますか」

質問24「学校に行くのは楽しいですか」

質問26「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」

質問6は自己肯定感について、24、26は学校生活の充実度について問う質問ですが、いずれも「はい」と答えた率が、全国平均を上回っています。このことから、多くの子どもたちが自己肯定感をもち、充実した学校生活を送っていると感じていることが窺えます。

質問32「学校の決まりを守っていますか」

質問33「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」

質問35「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」

他の人との関わりについての質問です。質問32は、全国平均を下回っています。廊下歩行など、学校生活の様子を「自分に厳しく」振り返ることができているのではないかと考えられます。一方で、33、35は「はい」と答えた率が、全国平均を大きく上回っています。ここからは人とのつながりの大切さや、社会の一員としての自分の役割について考えようとしている姿が見て取れます。

質問10「普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ、DVDを見たり、聞いたりしますか」

質問11「普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（携帯を含む）をしますか」

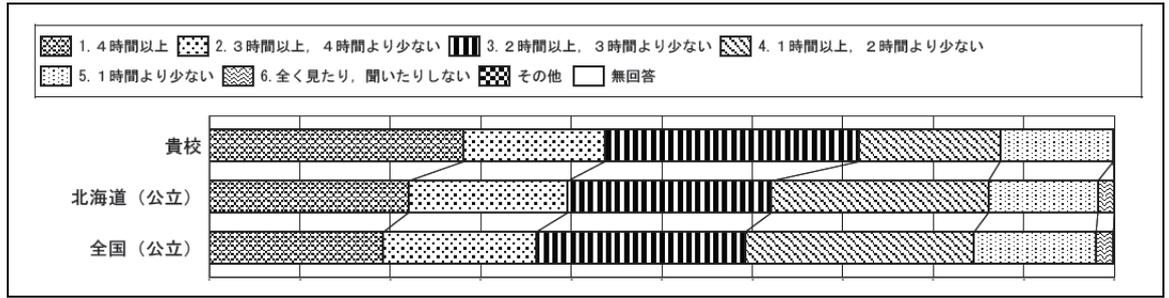
質問30「新聞を読んでいますか」

勉強以外での、家での時間の使い方についての質問です。一部の質問についてはグラフも掲載し、詳しく見ていきたいと思えます。

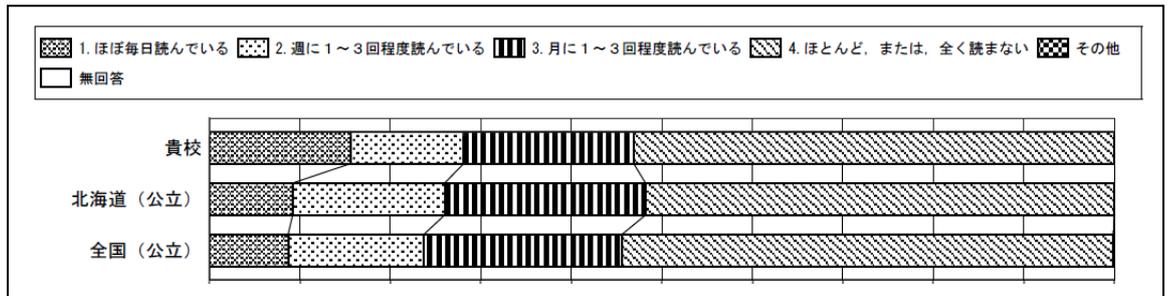
質問10では「2時間以上」と答えた率が全国平均を大きく上回っており、この中でも特に「4時間以上」

と答えた率も全国平均を上回っています。テレビやビデオ、DVDを見る時間が、全国平均に比べて多いという実態が窺えます。質問 11 では、「2 時間以上」と答えている率が全国平均とほぼ同じでした。

質問 10 の結果



質問 30 の結果



質問 30 では、「ほぼ毎日読んでいる」と答えた率が全国平均を上回っており、全国平均以上に、新聞を読む習慣の身になっている子が多いことが明らかになりました。

質問 13 「普段、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」

質問 14 「学校が休みの日に、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」

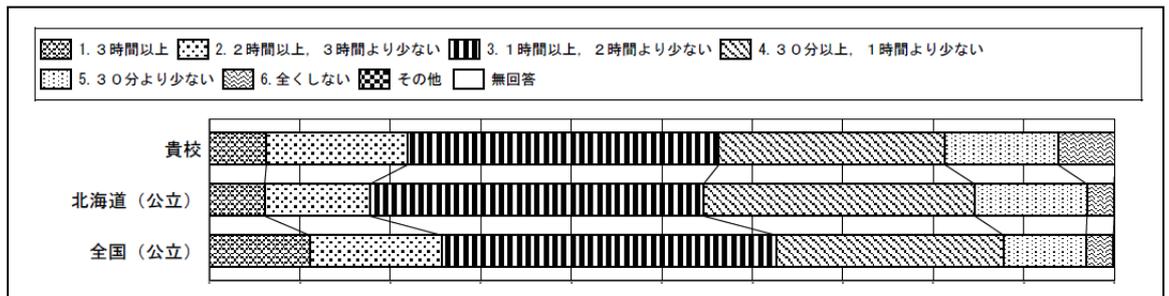
質問 16 「普段、1 日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」

質問 21 「家で、学校の宿題をしていますか」

質問 23 「家で、学校の授業の復習をしていますか」

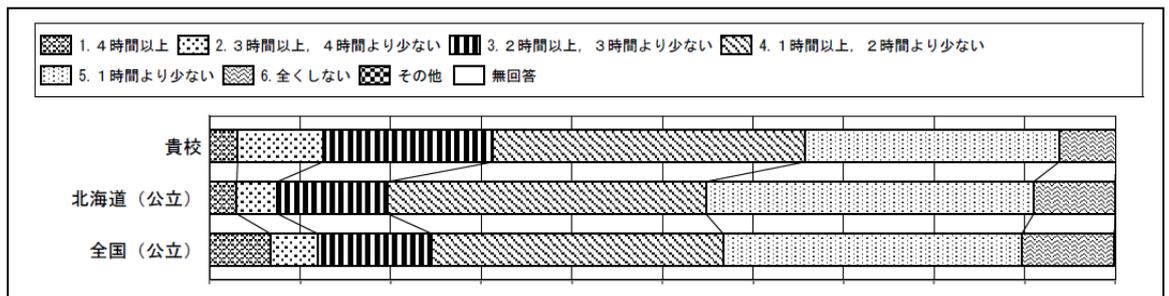
家庭での学習や読書についての質問です。

質問 13 の結果



本校での家庭学習は「学年×10 分+10 分」としており、6 年生の場合は「70 分以上の家庭学習」を呼びかけていますが、「1 時間以上勉強する」と答えている率は、グラフの通り全国平均を下回る結果となっています。質問 10 で示した、テレビを見る時間との間に、関係があるのかもしれませんが。

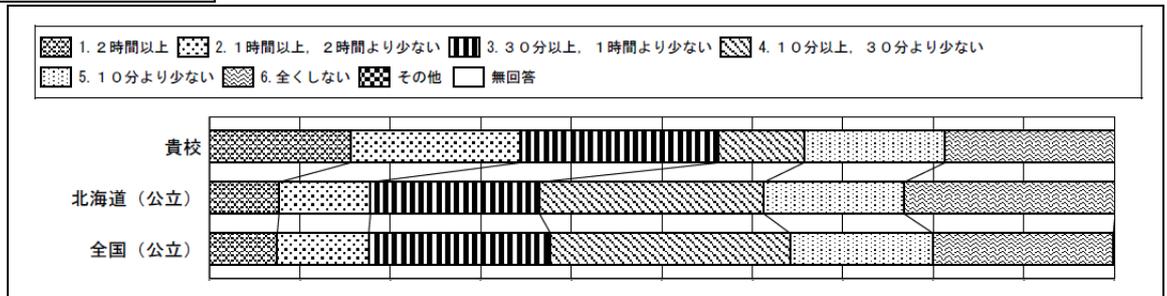
質問 14 の結果



学校が休みの日も、事情がある場合を除いて家庭学習を行うことが、学習習慣を身につける上で大切です。質問 14 では、「1 時間以上勉強する」と答えている率が全国平均を上回る、望ましい結果となっています。

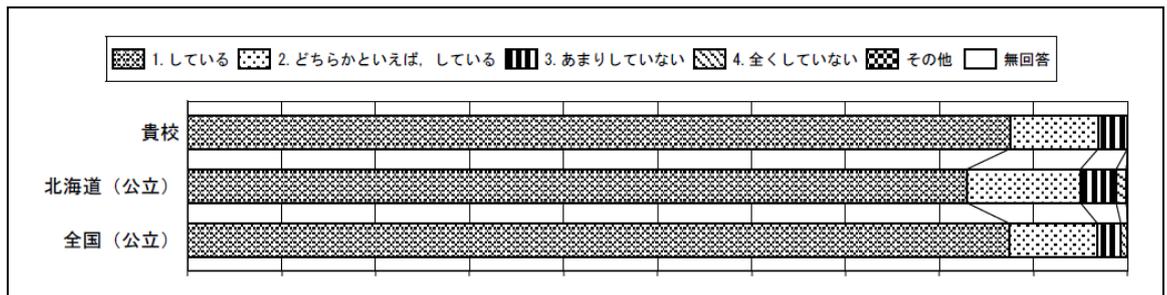
学力UP便り 第7号(3)

質問16の結果



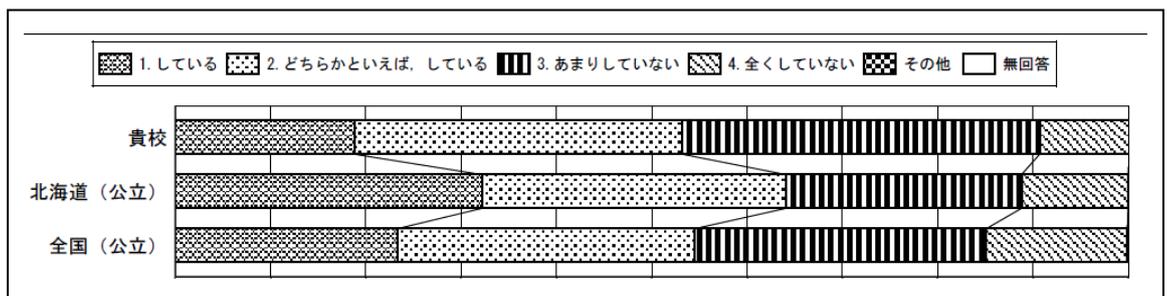
読書についての質問です。「1時間以上読む」と答えている子が全国平均を大きく上回っています。先に示した「新聞を読む習慣」からも言えることですが、本や新聞を読むことは「国語力」を伸ばすことに大きくつながります。今回の調査で「国語B問題」が全国平均を大きく上回った背景には、このような子どもたちのよい習慣も一因としてあるのかもしれませんが、ぜひ、今後とも続けてほしい習慣です。

質問21の結果



質問21は、家で学校の宿題を行っているかを問うものです。全国平均と同等の、高い値を示しています。一方で、先に示した質問13では、家庭での勉強時間が全国平均よりも短いという傾向が窺えることから、宿題以外の、「家庭学習」の習慣が十分とはいえない子がいると、捉えることができそうです。自分自身が今必要としている学習内容を見定め、自分自身で学習の内容を決めて取り組むことができれば、それは必ず大きな力につながっていきます。そのような習慣を身につけていくことができるよう、今後も学校で指導を進めていきます。ご家庭でのお声掛けも、ぜひ、よろしくお願いいたします。

質問23の結果



質問23は、家で学校の授業の復習を行っているかを問うものです。全国平均を下回る結果になっています。復習は、その日の学習内容を確実に身につけるための、重要な学習方法のひとつです。質問21とも関連しますが、宿題以外の「家庭学習」の内容に、「その日の学習の復習」を取り入れることが、一層の学力向上への「カギ」になるかもしれません。

以上、質問紙調査について、いくつかの結果をお示ししましたが、全国平均と比べたとき、帯小の子どもたちの実態はどのようなものなのだろう、という疑問への答えにつながるヒントを少しでもお示しできていれば、嬉しく思います。

本校では、子どもたちの成長を願い、今後も職員が一丸となって指導を進めていきます。しかし、子どもたちが健やかに育っていくためには、ご家庭の皆様の協力も欠かせません。今後とも本校の教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。